生き活きしらぬか 笑顔輝くまちを目指して

広報 しらぬか

2024 7 July

No. 1052

Public Relations Magazine



Contents

2 令和６年度 町政執行方針
8 特集 しらぬか暮らし。北野桃香さんへインタビュー
10 しらぬか歌謡コンサート
11 しらぬか婚活イベント「白糠グルメと恋するタベ」
13 空き家の実態調査を実施しています
27 町おこしエネルギー防災ベッド寄贈

バレーボールを楽しんで 藤原奨太選手が練習に参加

５月23日、白糠町出身で日本バレーボールリーグで活躍する藤原奨太選手（25歳・写真中央）が町のバレーボール少年団「庶路ビクトリー」の練習に参加し、一緒に汗を流しながらバレーボールを楽しみました。（関連記事14頁掲載）

令和6年度

町政執行方針

※掲載している町政執行方針は、広報用に編集しています。原文はホームページまたは役場2階企画財政課（11番窓口）、庶路支所で見ることができます。



6月4日、棚野孝夫町長が第2回町議会定例会において、町政執行方針を述べました。

はじめに

このたびの町長選挙では、議員各位ならびに町民皆さまからのご理解とご厚情をいただき、引き続き町政を担わせていただくこととなりました。このことは、身に余る光栄であり、その信頼と期待に応えられるよう、与えられた重責を全うします。

私は、就任当初から現在に至るまで、今日の白糠町を築いてこられた先人に感謝し、子や孫へ活力ある「ふるさと白糠」を引き継いでいくという思いを信念として、まちづくりに取り組んできました。

将来を見据え、行財政改革を断行し、また、市町村合併の取り組みなど大変厳しい町政の運営が強いられる中、自立の道を選択し、以降身の丈に合ったまちづくりをしていくという精神で、議会、町民、行政が一体となった大きなお力添えをいただきながら「新たなまちづくり」を推進してきました。まさに顧みますと、この経験こそが、本町が将来に向かって持続可能な町政を確立するための確かな基盤の構築に結びつき、また、現在、全国の皆さまから応援をいただいているふるさと納税も含め、今日のまちづくりの大きな推進力になっています。

私は、今任期におきましても、豊かな自然と気候風土、恵まれた地域ポテンシャルの発掘とその活用により、第一次産業から第二、第三次産業につながる地域経済の循環をしっかりと支え育てるとともに、環境に配慮したまちづくりを推進し「白糠町に住んでみたい、住み続けたい、住んで良かった」と思っていただけるよう、これまで培った経験や人的ネットワークを最大限に生かして、町政の運営に努めていきます。

本年度の町政執行の基本的な考え方について

町政執行の基本的な考え方については、これまでと同様「第8次白糠町総合計画」を踏まえた3つの柱に加え、環境に配慮したまちづくりを推進していきます。

また、本年度は「第3期白糠町創生総合戦略」の策定、「白糠町人口ビジョン」を改訂して人口減少問題に対して本町における目指すべき姿をお示しし、その取り組みの推進に努めていきます。

1 機能的で魅力ある基盤づくり

町民の安全・安心と快適な生活を守り、住環境などの利便性を確保するためには、計画的な生活基盤の整備と施策の推進が必要です。

未開通となっている国道274号の釧路市阿寒町布伏内から本町二股までの17・7㎞については、日本海溝・千島海溝沿いの大規模地震への対応の観点からも本路線の全線開通が不可欠なことから、より積極的な要請活動を行います。

国道38号恋問館付近から釧白工業団地に接続する踏切については、恋問館利用者や国道通行車両の避難ルートとして、当該踏切から町道釧路空港短絡線に接続する町道の設計業務に着手します。

住環境の整備については、移住定住を促進するための「定住宅地の無償譲渡制度」が、子育て世帯や若い夫婦を中心に利用され、大変好評です。現在、当該宅地の残りがわずかとなったことから、新たな一団の宅地の造成、さらには現行の新築住宅への助成制度の条件緩和や助成額の増額など、思い切った住宅政策を進めていきます。

白糠駅前広場整備事業については、白糠駅舎と町営バスターミナルの一体的な整備による利便性の高い公共交通の実現や、防災機能を併せ持つ拠点施設として、令和10年の供用開始に向けて、本年度から各種工事に着手します。

消防体制の整備として、導入から10年が経過した消防救急デジタル無線設備と、昭和63年に導入した水槽付きポンプ自動車を更新します。

大規模地震による津波に備え、津波避難タワーをはじめとする避難施設の整備とともに、今般の能登半島地震における課題や教訓を踏まえ、防災拠点施設の整備に向けた検討を進めます。



津波避難タワーのイメージ図

また、事前の備えとして、地震による被害の軽減を図るため、住宅・建築物の耐震診断および耐震改修に対する支援制度の構築について検討を進めるとともに「備えあれば憂いなし」「逃げるが勝ち」という意識の重要性を町民と行政がより一層共有していくため、その啓蒙に努めていきます。

大雨等により、道路冠水を繰り返している市街地の抜本的な排水対策を講じるため、本年度は雨水桝および排水管等の現況調査を実施し、道路冠水の解消に向け、計画的な取り組みを進めていきます。

自治体ＤＸ（デジタル・トランスフォーメーション）については、デジタル技術の活用による住民サービスの向上や、効率的な業務改善を計画的に進めるため「白糠町ＤＸ実行計画」を策定し、その取り組みを推進していきます。

(1)国道・道道の整備促進要請

(2)町道の整備促進

(3)橋梁長寿命化修繕計画の推進

(4)農道・林道の整備

(5)海岸保全・河川の整備促進要請

(6)地域公共交通ネットワークの確保・維持

(7)住宅政策による移住定住の促進

(8)白糠駅前広場整備事業の推進

(9)公営住宅等長寿命化計画の推進

(10)交通安全思想の普及啓発

(11)消防・防災体制の充実強化

(12)津波避難施設等整備事業の推進

(13)防災拠点施設整備事業の推進

(14)道路冠水対策の推進

(15)デジタル社会の実現に向けた取組の推進

2 美しく快適な環境づくり

世界各地では、自然災害が頻発化、激甚化し、国内においても昨年夏に記録的な猛暑を経験するなど、地球温暖化の進展は、日常生活や社会、経済活動にさまざまな影響を及ぼしています。このことは、本町にとって決して対岸の火事ではなく、海水温の上昇による魚種の変化や、夏場の酷暑など身近なところにその影響が出ており、この環境問題に対して意識を持ち、行動していかなければなりません。

本年度は、農・林・水産・再生可能エネルギー・アイヌの方々の文化や生き方の５つのフィールドを活用した環境教育など、その施策の推進に努めていきます。

特に、再生可能エネルギーの取組は、環境問題の大きな要因となっているＣＯ２の削減に大きく貢献することから、再生可能エネルギーのポテンシャルや省エネルギーの取り組みに係る調査研究を進めるとともに、公共施設へ自家消費型太陽光発電設備の導入を進め、災害時にも活用できる再生可能エネルギーの地産地消に取り組んでいきます。

水道事業については、配水管の整備・更新を計画的に取り進め、安全で安定した水の供給に努めるとともに、給水資機材の充実を図り、緊急時における水の供給体制を速やかに整えます。



環境教育として、釧路総合振興局林務課の職員から森林の働きを学ぶ白糠学園の３・４年生。

また、茶路簡易水道事業については、北海道主体で昨年度から取水施設の改築工事に着手しており、来年度の完成に向けて、引き続き連携を図りながら整備を進めていきます。

下水道事業については、長寿命化計画に基づき、引き続き白糠下水道管理センターなどの設備更新を進めていきます。

公園整備については、岬の森東山公園を優れた風景地として保護するとともに「アイヌ伝統文化空間」として位置づけ、アイヌ文化と自然を体感し、理解を深めることができる拠点として、再整備を進めていきます。

(1)上水道・簡易水道・飲用水道供給施設の整備の推進

(2)公共下水道の整備の推進および普及率の向上

(3)公共下水道施設長寿命化計画の推進

(4)合併処理浄化槽の設置整備の推進

(5)脱炭素社会の実現に向けた施策の推進

(6)釧路管内市町村による「自然の番人宣言」の推進

(7)「ふるさとエコ&クリーンしらぬか」の推進

(8)岬の森東山公園の再整備の推進

(9)公園施設長寿命化計画の推進

3 健康で思いやりのある社会づくり

誰もが心身共に生き生きと元気に暮らしていくためには、乳幼児期から高齢期までそれぞれの段階における総合的かつ計画的な健康づくりが重要です。

国が目標としている「すべての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」に向け、一次予防を推進していきます。

また、本年度から生活習慣病予防に効果的なウオーキングを推奨し、歩数をポイント化する事業に取り組み、運動に対するきっかけや習慣化を促進します。

成人保健については、各種健診のほか、脳ドックや肺CT検査などの検診により、疾病の早期発見から適切な治療につながっていることから、より多くの方々に受診していただけるよう周知の徹底や検診体制の充実を図ります。

感染症対策については、帯状疱疹ワクチンの接種費用の助成対象を50歳以上の全町民に拡大するとともに、高齢者および18歳までの子どもと、その家族に対する季節性インフルエンザワクチンの接種費用を無料化し、経済的負担の軽減と発症および重症化の予防を図ります。



本年度から実施するウオーキング事業。１日の平均歩数をポイント化し、シラトピア商品券と交換します。

母子保健については、助産院での宿泊・通所型の産後ケアに加え、不妊治療費等助成事業に宿泊費の助成を追加するなど、安心して子どもを産み育てることができる環境の充実と、妊娠から出産、子育てまで切れ目のないサポートを総合的に提供していきます。

子育て支援については、来年度から5年間における「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めるとともに、出産・保育・医療・教育の各分野にわたる一体的な施策「〝太陽の手〟子育て支援」を推進し「子育て応援日本一の町」を実践していきます。

少子化対策については、子どもの誕生を祝福する出産祝い金の支給額を増額するとともに、結婚祝い金を創設します。

幼児教育・保育については、希望する全ての子どもを認定こども園で受け入れ、保護者の就労と子育ての両立を支援するとともに、幼児期における「平仮名の読み」や「数と計算」の定着など、0歳から5歳までの一貫した幼児教育により義務教育との円滑な接続への取り組みを進めていきます。

地域福祉については、終わりの見えないエネルギー価格と物価の高騰を踏まえ、福祉灯油等購入費の助成額を増額します。

アイヌ政策については、白糠アイヌミュージアム「ポコロ」と、「ウレシパチセ」の2つの拠点でアイヌ民族の歴史や伝統文化への理解の深化を促進するとともに、アイヌ文化の継承・発展と、交流

人口の拡大による地域活性化に資する取り組みを進めていきます。

高齢者福祉については、本年度から聴力機能が低下した高齢者を対象に、補聴器購入費用の一部を助成するとともに、75歳以上の住民税非課税者を対象に、入院に伴う費用の一部を助成し、高齢者福祉の増進に努めます。

また「生き活きしらぬか事業」等の取り組みを引き続き推進するとともに、タクシー券の増額など、より一層の交流機会の確保と福祉の増進に努めます。

障がい福祉については、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、事業者や関係機関と連携を図りながら、必要とするサービスの提供に努めます。



「生き活きしらぬか日帰り温泉事業」。昨年は10月４～６日の３日間で計144人が参加しました。

介護保険事業については「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づく事業の推進と介護給付費の適正な給付に努めます。

介護予防の推進については、地域での自主的な介護予防活動のプログラムの充実を図るとともに、地域貢献と自らの介護予防に取り組む「生活・介護支援サポーター」の養成と活動支援を進めます。

(1)健康づくりおよび生活習慣病予防対策の推進

(2)食育の推進

(3)メンタルヘルスケアの推進

(4)国民健康保険事業の健全運営

(5)感染症ワクチン接種体制の整備

(6)母子保健事業の推進

(7)子ども・子育て支援事業計画の推進

(8)総合的施策「〝太陽の手〟子育て支援」の推進

(9)結婚支援事業の推進

(10)幼児教育の充実

(11)新生児の防災対策への支援

(12)福祉灯油等購入費の助成事業の推進

(13)アイヌ施策の推進

(14)映画シサムのＰＲへの支援

(15)高齢者補聴器購入費助成事業の推進

(16)高齢者入院費助成事業の推進

(17)生き活きしらぬか外出支援・健康入浴・ふれあい交流・日帰り温泉・活動応援ポイント事業の推進

(18)障がい福祉サービスの推進

(19)介護サービスの推進

(20)介護予防・日常生活支援総合事業の推進

(21)認知症対策の推進

(22)成年後見制度の推進

4 希望あふれるひとづくり

本町は「ふるさと教育」を教育行政の基軸とし、これまで心の角度を変えてまちを見つめ直すこと、他人のために汗を流すこと、足元の材料を耕し直すことを行動目標とし、さまざまな取り組みを進めてきました。

総合教育会議における情報の共有化など、教育委員会と一層の連携を図りながら、引き続きその推進に努めていきます。

※教育行政執行方針は、広報しらぬか５月号に掲載しています。

5 活力に満ちた産業づくり

不安定な国際情勢を要因とする物価や原油価格の高止まりなどにより、事業者の経営は依然厳しい状況が続いています。

生産者の所得向上と地域経済の発展に向け、各々の分野における施策を推進していきます。

農業については、基幹である酪農・畜産経営の安定化を図るため、農業の基本である土づくりを推進し、良質な自給飼料の生産拡大に取り組む生産者に対して、その整備に係る費用の一部を支援します。



持続可能な社会づくりに貢献する人材を育成するため、「環境教育」を推進していきます。

また、現在の酪農を支え育てていくことはさることながら、将来を見据え、持続可能で自然環境にも配慮した循環型の放牧酪農の取り組みを進めていきます。

担い手対策については、農業にチャレンジしやすい環境づくりを進めるとともに、気候風土を生かした蔬菜生産や果樹栽培の実証試験を進めていきます。

林業については、森林環境の保全や林業専用道などの路網整備による未整備森林の適切な更新を図るとともに、担い手の育成や確保に向けた取り組みなど、林業・林産業の振興に努めていきます。



酪農で新規就農を目指している菊地さん夫婦。本年度は３件の新規就農が予定されています。

また、生産される木材の有効かつ付加価値の高い利活用の促進を図るため、バイオマス利用や木材の高次加工の取り組みについて推進していきます。

漁業については、持続可能な資源の増大に向け、白糠漁業協同組合が取り組んでいるホタテの増養殖事業に対する支援とともに、ヤマトシジミやナマコなど、新たな魚種の可能性を探るため、増養殖の実証試験等を進めていきます。

漁獲物の販売促進に向けた取り組みについては、本町海域で水揚げが増えているブリなどの魚種に対し、高付加価値化に取り組む事業者に対して支援するとともに、前浜で獲れた海産物の製品加工や販売を行うため、白糠漁業協同組合が進めている水産加工施設整備事業に対して支援を行い、漁家経営の安定に努めます。

また、令和４年度に設置した海況観測センサーに新たな機能を追加し、漁業の効率性や生産性を向上させることで、次代を担う若手漁業者が希望を持って漁業に取り組めるよう、漁業の振興に努めます。

商工業については、現下のさまざまな価格上昇と高止まりが続いていることや、事業後継者が不足している状況を踏まえ、引き続き白糠町商工会と連携を図りながら、小規模事業者、事業後継者に対する支援に努めます。

道の駅しらぬか恋問移転改築事業については、来年４月のオープンに向け、受託事業者と連携を図りながら、まちの新たな魅力発信拠点施設として整備を進めていきます。

また、花火大会等のイベントの開催や道央圏ならびに道外での物販等を通じて、交流人口や特産品販路の拡大など、まちの活性化に向けた取り組みを進めていきます。

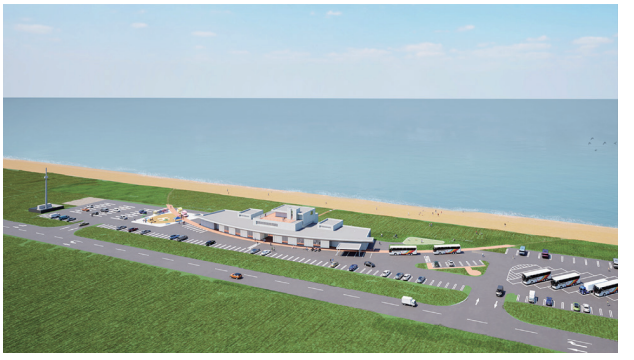
まちの魅力発信については、パンフレットやフリーペーパー、ＰＲ動画などを活用し、子育て支援や移住定住施策、環境に配慮したまちづくりへの取り組みを、積極的に発信していきます。

また、民間事業者のアイデアやノウハウ、ネットワーク等を積極的に活用し、情報発信の強化に努めます。

「ふるさと納税」については、寄付された皆さまとの継続した関係性を重視しながら、さらなる本町のＰＲに努めるとともに、地域食材の高付加価値化など、将来に向けて持続していくための取り組みを推進していきます。

企業活動への支援については、企業誘致の促進と町内企業の事業拡大に対して支援を行い、新たな雇用の創出と地域経済の発展に努めます。

本町泊別地区の道立広域公園については本年度、北海道と民間活力の導入や管理運営を含めた役割分担など、具体的な整備手法について協議を進め、早期の事業着手に向けて取り組んでいきます。



新たな「道の駅しらぬか恋問館」の完成イメージ図。2025年４月オープンに向けて、現在整備を進めています。

(1)道営草地整備事業の推進
(2)家畜防疫対策事業への支援
(3)担い手対策、新規就農者等支援事業の推進
(4)中山間地域等直接支払交付金制度による事業の推進
(5)多面的機能支払交付金制度による事業の推進
(6)環境保全型農業直接支払交付金制度による事業の推進
(7)有用植物の調査・研究に対する支援
(8)地域特性を生かした農業の推進
(9)農林業の連携による地域資源を活用した循環型森づくりの推進
(10)エゾシカ被害防止対策及び有効活用の推進
(11)ヒグマ被害防止対策の推進
(12)有害鳥獣捕獲の担い手育成に対する支援
(13)民有林振興対策の推進
(14)漁業資源の増養殖事業の推進
(15)漁業後継者の育成に対する支援
(16)漁業操業用機器の整備・更新に対する支援
(17)水産生産基盤整備事業の推進
(18)水産加工施設整備事業への支援
(19)新産業創造等促進事業の推進
(20)商工業における次世代育成事業の推進
(21)道の駅しらぬか恋問の移転改築
(22)しらぬか魅力発信事業の推進
(23)産業振興研修事業への支援
(24)ふるさと納税の推進
(25)企業活動に対する支援
(26)道立広域公園整備の推進



「楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー2023」ふるさと納税賞大賞初受賞。107万件から167億円の寄付をいただきました。

6 みんなで歩む地域づくり

地域社会の持続的な発展を図るためには、町民の皆さまをはじめ、まちを構成するあらゆる関係機関等と情報を共有しながら、協働のまちづくりを推進していくことが必要です。

「第８次白糠町総合計画」を基本とし、民間経営理念・手法導入の視点に立ち、効果的・効率的な自治体経営の実現に努めていきます。

「太陽のてがみ」をはじめ、さまざまな広聴手段により町民ニーズを把握するとともに、広報紙やホームページなどを活用し、情報を積極的に発信することで、町民と行政が一体となった協働のまちづくりを推進していきます。

地方分権の推進については、釧路町村会の「地域づくり広域プロジェクト推進会議」など、広域連携に向けた取り組みを推進していきます。

また、北海道と管内市町村、さらには東京都荒川区を中心とした特別区（23区）などと連携した首都圏との交流拡大に向けたプロモーション活動などを推進していきます。

(1)「第８次白糠町総合計画」の進行管理

(2)「太陽のてがみ」による町民と行政の協働のまちづくりの推進

(3)広報紙、ホームページなどによる情報発信の充実・強化

(4)健全な行財政運営の基盤の構築

おわりに

白糠の先人は、幾多の苦難と変革を乗り越え、まちを発展させてきました。わが町は、先人が築いたその礎の上に成り立っていることを決して忘れてはなりません。

私は「将来に向け、今、何をしなければならないのか、また何をしておくべきなのか」ということを自問自答をしながら、町政の舵取りを担ってきました。

今、世の中が目まぐるしく変化し、これまでの経験や常識が通用しないというような難しい時代に、まちの将来に対する答えを見つけていくことは容易ではありません。しかし、過去を振り返ると多くの先人もこうした苦労の中、まちのために尽くされ、今の白糠があるのだと改めて強く感じています。

私は先人の努力に思いを馳せ、白糠町の将来を見据えて、今期においても「ふるさと白糠」をしっかりと子や孫へと引き継いでいくために、全力でまちづくりに取り組んでいきます。

議員各位ならびに町民皆さまのより一層のご理解とご協力を、心からお願い申し上げます。

しらぬか暮らし。

ふるさと白糠町へUターンし、定住を決めた北野桃香（きたのももか）さんへインタビュー

幕別町から ふるさと白糠町へ。

2021年、北野佑真（ゆうま）さんと結婚し、現在は白糠町で2人の子どもと4人で暮らしている北野桃香さん。

池田町出身の北野佑真さんと、白糠町出身で釧路短期大学卒業後、帯広市の保育園に就職した桃香さんは、2年前まで幕別町で暮らしていました。

桃香さんは、長女の葵夏（あおか）ちゃんを授かった頃、佑真さんから「運転手に転職したい」と相談を受けました。桃香さんの運転手に対するイメージは「仕事が夜遅くまで続いている」「家になかなか帰って来られない」というものでした。幕別町では近くに頼れる人がいなかったことから、夫婦で話し合った結果、桃香さんの実家がある白糠町で暮らすことに決めました。

「夫が家に帰って来られなくなると、他に頼れる人がいないので、出産や子育てに不安がありました。でも白糠ならば私の親もいるし姉もいるので安心できます。夫に話をしたら快く『いいよ』と言ってくれたので、白糠に戻って、夫はこちらで運転手の仕事を探すことにしました」

現在、佑真さんは釧路市内でトレーラーの運転手として働いています。「子どもは白糠で産んだので、町から出産祝い金をいただきました」と桃香さん。桃香さんはそれまで、白糠町のさまざまな子育て支援のことをほとんど知らなかったと言います。

「姉は釧路市で子どもを産んでいたので、白糠の出産祝い金のことは知らなかったのです。他の子育て支援のこともあまり詳しくなかったので、話を聞くことがありませんでした。私は保育士なので、保育料が無料ということは知っていたのですが、それ以外のことは知らなくて、出産祝い金をいただいたときは、本当に驚きました。本年度から出産祝い金が5万円から10万円に増えたじゃないですか。夫には話していませんが、3人目の子どもを考えています（笑）。出産祝い金があるから産むということではないのですが、後押しにはなりますよね」



きたの　ももか
北野　桃香さん

白糠小、白糠中学校、釧路明輝高等学校卒業。釧路短期大学で保育士の資格を取得し、現在は庶路こども園に勤務。佑真（ゆうま）さんと長女の葵夏（あおか）ちゃん(2歳)、次女の桜羽（おとは）ちゃん(1歳)との4人暮らし。趣味はドラマを観ること、子どもと遊ぶこと。

あんのうりりな
いとこの安濃凛々菜さん(白糠4年)と一緒に。







子育てしながらでも働ける環境を。

出産祝い金の他にも18歳までの医療費の無料化や給食費の無料化、産前産後ケア事業など、本町にはさまざまな子育て支援があります。

こうした子育て支援のことを知らずに白糠へ戻ってきた桃香さん。

「ごみ袋を支給されたり、新生児用の防災用具が支給されたりと、本当にすごいですよね、とてもありがたいです」と、驚きと感謝を口にします。

一方では、帯広市の保育園とを比較し、こう話します。

「帯広市のほとんどの保育園では土曜日も19時まで保育が受けられますが、白糠町では午前中のみです。出産後に働きたいという女性は多くいると思いますが、土曜日に子どもを預けられないため、そのことを就職先の面接で説明すると採用されないことがあります。実際に私の知り合いにもそういうことがありました。私は保育士なので、土曜日は仕事を休みたいという思いもあるのですが、働きたいのに働けないという環境は改善できないのかなと思います」



実際に子育てをして、ありがたみを実感。

6月上旬、北野さん夫婦の家の改修工事が始まりました。白糠町での定住を決めたのです。

「夫は自分の職場が釧路市にあるので、市内に住みたいと言っていたのですが、将来的なことを考えると白糠の方が良いのではないかという話をして、それで白糠に家を建てることにしたのです」

北野さん夫婦は、町が移住定住施策として行っている町有地の無償提供を活用し、そこに家を建てることも考えたそうです。

「土地が無料ってすごいことですよね。しかも学校から近い場所にありますし、面積も広い。私たちが町有地の提供を受けようと考えたときには、ほとんどの土地が残っていなくて諦めたのですが、親の土地がなければ、今こうして家を建てることもできなかったと思います。家を建てたいと考えている子育て世帯には、とてもありがたい制度ですね」

北野さんは、白糠町に戻ってきたことをどのように感じているのでしょうか。

「隣町まで車で行かなければ、欲しい物が買えないとか、そういう不便さはありますけれど、子どもたちを自然豊かなところで伸び伸びと育てることができるのは、白糠にいるからだと思うのです。幼児教育もそうですが、最初は、今は幼児の段階から教育を受ける時代なんだと思っていました。でもそうではなくて、白糠独自の取り組みなんだということを知って驚きました。私は庶路こども園で保育士をしていますので、いつも園児たちが平仮名や英語の勉強をしているのを見て感心しています。白糠には田舎というイメージがあって、友だちから『白糠には何があるの？』と聞かれることもありますが、子育て支援の話をしたら、『白糠に移住したい、でも仕事があるから移住できない』って。自分が子育てをするようになって、いろいろなことを知り、白糠ってすごいなと誇れるようになりました。買い物で町外へ出かけなければならなくても、私は喜んで白糠に住みます。白糠に戻ってきて本当に良かったと思っています。もう家も建てているので、永住ですね(笑)。

生き活きしらぬかふれあい交流事業
しらぬか歌謡コンサート

高齢者の皆さんの生きがいづくりや、ふれあい相互交流のより一層の推進を目指して、笑顔で楽しい時間を提供する『しらぬか歌謡コンサート2024』を開催します。

出演者は「NHK歌謡コンサート」や「BS日本のうた」などに出演している演歌歌手の「山口ひろみ」さんと、今年デビュー15周年を迎えた浜の歌姫こと「喜多島麻鈴」さん。

この日、山口ひろみさんは白糠町のご当地ソング「恋問海岸」を全国販売。「しらぬか歌謡コンサート」では、新曲「恋問海岸」の全国販売を記念して作詞家「麻こよみ」先生を特別ゲストに迎えます。

皆さんぜひ、「しらぬか歌謡コンサート」へお越しください。

日程

7月17日(水) 14:00～（開場 13:30）

社会福祉センター



山口 ひろみ



喜多島 麻鈴

役場介護福祉課、社会福祉センター、庶路支所の各窓口で入場整理券を配布します。バスの利用を希望する方は、事前に申し出ください。当日は、入場整理券をお持ちください。

対　象　町内在住・65歳以上（無料）

配布期間　6月28日(金)～7月16日(火)
8:30～17:00　土、日曜祝日を除く

白糠ご当地ソング
「恋問海岸」を初披露

～無料送迎バス運行表～

庶路・西庶路		茶　路		和天別	
12：15	上庶路生活改善センター	12：15	旧二股バス停留所	12：55	和天別パイオニアセンター
12：25	中庶路集会所	12：25	上茶路集会所	13：05	下和天別集会所
12：35	暁集会所	12：35	縫別集会所	13：10	坂の丘集会所
12：45	西庶路コミュニティセンター	12：45	茶路簡易郵便局	13：15	白糠高校バス停留所
12：55	庶路宮下集会所	12：50	茶路小中学校前バス停留所	13：20	社会福祉センター
13：00	庶路駅	13：00	相互集会所		
13：05	庶路町民センター	13：05	茶路団地バス停留所		
13：10	西庶路駅	13：10	日の出団地入口バス停留所		
13：15	刺牛集会所	13：15	総合体育館町民バス停留所		
13：20	社会福祉センター	13：20	社会福祉センター		

「生き活きしらぬか活動応援ポイント事業」対象。コンサートに参加すると５ポイント付与！



※　帰りはコンサートが終わり次第、逆の順路で運行します。

問合先／介護福祉課高齢者支援係 ☎２－２１７１ 内線（587）

しらぬか婚活イベント「白糠グルメと恋する夕べ」



男女の出会いの場を提供する、しらぬか婚活イベント「白糠グルメと恋する夕べ」を開催します。イベントMCは、しらぬか応援大使のＤＪカツノリさんが務めます。参加される方は、次の事項を確認の上、ぜひ申し込みください。

日時・会場

8月3日（土）18:00～22:00

白糠振興センター（男性：白糠町在住で20歳以上の独身男性／女性：北海道在住で20歳以上の独身女性）

参加費 男性 2,000円（飲食代込み） ／ 女性 無料（宿泊料金（希望者のみ）） 【定員／男女各15人】

※詳細は、申込者に改めてご案内します。



・しらぬか応援大使
・ＦＭノースウェーブパーソナリティ

申込方法 右記のＱＲコードまたは下記のＵＲＬから申し込みください。
https://townshiranuka.wixsite.com/soushisouai
申込締切　7月10日(水)

問合先／しらぬか婚活イベント実行委員会事務局（役場健康こども課内） ☎ ２－２１７１ 内線（522・553）

「第３次健康増進計画」策定のためのアンケート

健康づくりに関する町民意識調査

町では、町民の健康づくりや母子保健に関する施策を「健康増進計画（すこやか白糠21）」に基づいて推進しています。このたび、令和７年度からの新たな計画を策定するため、町民の意識調査を実施します。

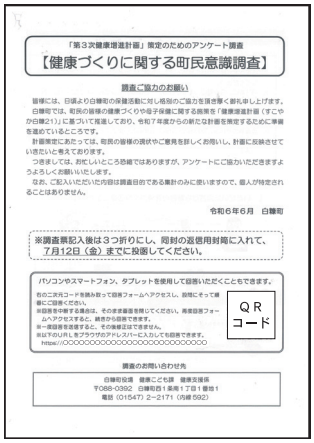
計画策定にあたり、皆さんの現状や意見を計画に反映しますのでアンケートにご協力をお願いします。

対　象　／６月１日現在、20～74歳の方の中から2,000人を無作為抽出

回答方法／①調査票を記入後、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。
②パソコンやスマートフォンで調査票に記載してある２次元コード、またはＵＲＬからフォームにアクセスし、回答してください。

回答期限／７月12日(金)まで

問合先　／健康こども課健康支援係 ☎ ２－２１７１ 内線（592）


「第３次健康増進計画」策定のためのアンケート調査
【健康づくりに関する町民意識調査】
調査ご協力のお願い
令和６年６月　白糠町
※調査票記入後は３つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、7月12日（金）までに投函してください。
パソコンやスマートフォン、タブレットを使用して回答いただくこともできます。
ＱＲコード

調査票見本

太陽のてがみ

てがみには、住所・氏名・年齢・職業を記入してください。（広報掲載時に氏名は載りません。）なお、ひぼう・中傷や営利を目的とする内容は掲載しません。

白糠町の人口ビジョン　将来人口推計の見直しが必要では？

70代・男性

本町は独自の人口ビジョンに基づいて、子育て支援や介護サービスなど、さまざまな策定を行っています。

本町の人口ビジョンでは２０４０年の人口を６１５７人と推計していますが、昨年度末に発表された国立社会保障・人口問題研究所の２０５０年の推計人口は、２８４１人で、両者の年度には10年の違いはあるものの約３３００人の差が生じていることは理解できません。

厚生労働省が２０１８年から２０２２年までの５年間の「合計特殊出生率（１人の女性が生涯に産む子どもの推計人数）」を発表しました。その結果、本町の出生率は全国・全道平均を下回り、かつ釧根管内においても最下位の１・１９人でした。この数値を見て私は大変な衝撃を受けました。

本町では「子育て応援日本一の町」というスローガンを掲げ、移住促進や子育て支援をしていますが、そのことが人口増には結びついていないようです。

卒業生が地元に残って就職するよりも他自治体へ就職口を求める方が多く、それも人口減少に追い打ちをかけている原因の一つだと思います。若い方が正規職員として雇用され、安心して白糠に居住し、そして結婚・出産にのぞめる環境づくり、支援体制が必要ではないでしょうか。

また、一度ふるさと白糠を離れた後、地元のために尽くそうとの思いで帰郷した人たちに対し、なんらかの経済的な優遇制度があれば、人口減少を多少でも抑えることができるのではないでしょうか。

人口減少対策は喫緊の課題です。白糠独自の人口ビジョンを早急に見直した上で、さまざまな政策を推進し、厚生労働省が推計人口数を変更せざるを得ない結果になればと願っています。

お答えします

本町はこれまで、保育料や18歳までの医療費の無償化のほか、移住・定住対策として、平成29年度から「太陽のまち定住奨励助成事業」や「町有地の無償提供」など、人口減少への課題に向けた対策を進めてきました。

特に町有地の無償提供では、35世帯、90人以上が町内に移住し住居を構えていますが、若い世代の多くは進学、就職をした際に町を離れ、そのまま戻らないため、残念ながら人口減少に歯止めがかかっていないのが現状です。

しかし、転入数と転出数の差を表している社会増減において、令和５年１月から12月までの増減数が昭和45年以降初めてプラスに転じました。このことは、これまでの取り組みが少しずつですが実を結んできた成果だと考えています。

今後については、本町の人口増減について分析を進めた上で、より効果的な思い切った施策を展開していきたいと考えています。

人口減少は日本全国で進行していますが、本町としては、基幹産業である農・林・水の第一次産業の再興と振興が図られることにより、そこに仕事が生まれ、所得が向上し、家庭に潤いがもたらされ、子どもを産み育てるといった環境が整うとともに、若者の人口流出を抑制し、地元回帰へつながるものと考えています。

なお、現在の人口ビジョンは、令和元年度に改訂したものですが、昨年末に国立社会保障・人口問題研究所が公表した地域別将来推計人口データを踏まえ、本年度中に改訂する予定ですので、ご理解をお願いします。

〈企画財政課〉

公園内の犬の扱いについて

60代・男性

逍遥公園がきれいに整備され、子どもたちが元気よく楽しそうに遊んでいる姿を多く見かけるようになり、大変うれしく思っています。

ですが、同時に公園内で犬の散歩をしている方も多く見られるようになりました。散歩をしている犬の中には大きな犬もおり、子どもたちの安全面が危惧されます。

また、排泄物用の袋を手に持っている方もいますが、犬のフンを多く見かけますし、排尿などによる衛生上の問題もあると思います。

きれいに整備された公園を、これからも子どもたちや親御さんたちに気持ちよく快適に使用していただくとともに、愛犬家の皆さんにもルールやマナーを守って犬との散歩を楽しんでいただきたいと思いますので、公園内での犬の扱いについて、今一度、検討していただけないでしょうか。

お答えします

町民の皆さまには、逍遥公園をはじめ、多くの公園を利用していただきありがとうございます。

現在、犬の立ち入りを禁止している公園はございませんが、犬を飼っている方はご承知のとおり、「リードを付ける」「フンは持ち帰る」のがマナーであり、犬を飼う方は、マナーを守って飼育することが当然の責務でもあります。そのことを大前提に公園を利用していただいていますが、最近、公園の芝生で犬がフン尿をしているところを見て「どうにかできませんか」という声が寄せられています。

このようなことから、公園内では衛生の面からも芝生の中へは犬を立ち入れないこととし、今後、注意喚起の看板設置と併せて、広報紙を通じてペット飼育のマナー等について注意喚起を呼び掛けていきます。今後におきましても、皆さんが気持ち良く公園を利用していただけるよう維持管理に努めますので、ご理解をお願いします。

なお、パークゴルフinチャロの北側にドックランを整備していますので、そちらの利用もお願いします。

〈建設課〉

空き家の実態調査を実施しています

空き家の適正な維持管理と利活用に向けた対策を検討するため「空き家の実態調査」を実施しています。

現在、町が委託した業者「株式会社ゼンリン」の職員が町内全域を調査していますので、ご理解とご協力をお願いします。



○**調査対象**／白糠町全域の空き家と思われる建築物

○**調査期間**／令和６年９月までの予定

○**調査業者**／株式会社ゼンリン

※調査員はゼンリンの制服を着用し、調査員証と腕章を携帯しています。
調査員に成りすまして個人情報を聞き出す「かたり調査」には十分ご注意ください。

○**調査内容**／空き家と思われる建築物の外観調査、写真撮影

※調査員が建築物の近隣の方にお尋ねする場合があります。

※調査員が居住や使用の有無を確認するため、建物の敷地内に立ち入ることがあります。

空き家の所有者には管理責任があります。

空き家が適切に管理されず長期間放置されると、老朽化が進み周辺の生活環境に悪影響を及ぼします。「空家等対策の推進に関する特別措置法」では、空き家の所有者または管理者は、空き家を適切に管理する責務が定められています。空き家の所有者または管理者は、適切な管理をお願いします。

問合先／役場企画財政課地域振興係 ☎ 01547−2−2171（内線239）

5月23日

バレーボールを通じて交流
藤原奨太選手と練習

日本バレーボールリーグ機構のＶリーグディビジョンⅠに所属する「ＶＣ長野トライデンツ」の藤原奨太選手が、町総合体育館で行われた庶路ビクトリースポーツ少年団（13人所属）の練習に参加しました。

白糠町出身の藤原選手は、スポーツを通じた社会貢献活動の一環として、オフシーズンを利用して練習に参加。少年団の選手たちと「パス練習」や「ミニゲーム」を通して交流を深めました。

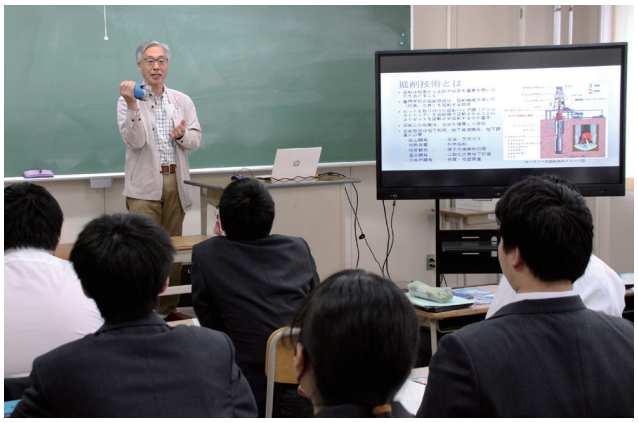
ミニゲーム後、藤原選手は「お見合いで簡単にボールを落としてしまう場面があったので、元気よく声を掛け合って、無駄な失点をなくすことが大事」などとアドバイスを送りました。

練習を終えた藤原選手は「少しでも子どもたちの力になれたらうれしいです。子どもたちといろいろな話をして、とてもいい経験になりました」と笑顔で話してくれました。

庶路ビクトリーの三栖逢喜（みすおうき）主将（庶路６年）は「一緒に練習ができてうれしかったです。藤原選手はすごくうまくて勉強になりました」と喜んでいました。



藤原奨太選手は1998年7月14日生まれ、白糠町出身。身長190㎝、体重87kg。小学４年でバレーボールを始める。庶路小学校卒業後、駿台学園中学校・高等学校へ進学。高校３年時にはインターハイ、国体、春高の三冠を獲得。日本体育大学を経て、Vリーグ選手となる。



ビット(掘削刃)を手に、掘削の仕組みを説明する島田理事

5月24日

地熱発電と掘削技術を学ぶ
掘削技術専門学校が出前授業

掘削技術専門学校の出前授業が白糠高校で行われ、１年生22人が地熱発電や掘削技術について学びました。

専門学校の島田邦明理事は「地熱発電は純国産エネルギー。国内で供給できることが重要です」と説明。

授業を受けた今野仁さんは「二酸化炭素の排出を減らすことが重要で、地熱発電は二酸化炭素の排出が少ないことを知り勉強になりました」と話していました。

5月24日

大きく育ってほしい
令和６年度　白糠町植樹祭

緑化推進委員会主催の「白糠町植樹祭」が、庶路乳呑町有林で行われ、町民や林業関係者、白糠高校の１年生22人など約120人がトドマツ400本を植えました。

あいにくの雨の中、参加者はスコップを手に穴を掘り、トドマツの苗木を丁寧に植えました。参加した高校生たちは「いい経験になりました」「大きく育ってほしい」などと目を輝かせていました。



トドマツを植える白糠高校の１年生

5月31日

行政や関係団体との連携強化
連合町内会定期総会

連合町内会（染谷仁也会長）の令和６年度定期総会が社会福祉センターで開催され、各町内会長や役員約50人が出席し、新年度の事業計画や予算を決めました。

総会では始めに、長年にわたって連合町内会役員や町内会長を務めた17人が表彰されました。表彰後、染谷会長は「行政や関係団体と連携しながら、町内会の取り組みを支えていきたい」とあいさつを述べました。



町内会長20年の表彰を受ける河原町内会の峯田悟会長

5月25日

木との触れ合いで自然を知る
ふるさと未来塾開講式

ふるさと未来塾の開講式と１回目の講座が、社会福祉センターと縫別自然の家で開かれました。

今年度は小学生24人が登録。開講式後に行われた講座では、２チームに分かれて、丸太転がしリレーや木片を早く積み上げるリレーを行ったほか、午後からは、二酸化炭素が地球温暖化につながっているのかを確かめる実験を行い、環境についての理解を深めました。



縫別自然の家で行われた「丸太転がしリレー」



整備した「縫別自然の家」の花壇の前で記念撮影

6月2日

色鮮やかな花で出迎え
縫別自然の家花壇づくり

縫別地区協議会（石田正義会長）は、「縫別自然の家」と「縫別集会所」の花壇に色鮮やかな花の苗を植えました。

会員14人と町職員２人が町花のキンセンカをはじめ、パンジー、マリーゴールド、サルビアなど、約２時間かけて245株を植えました。石田会長は「縫別に訪れる人をきれいな花で迎えたい」と話していました。

6月2日

５年ぶりの開催で26チームが熱戦
道東小学バレーボール大会

第45回道東小学バレーボール大会（町バレーボール協会主催）が総合体育館で開かれ、釧路、根室、十勝、オホーツクのチームがトーナメント戦で競いました。

男女混合の部に14チーム、女子の部に12チームが出場。男女混合の部で庶路ビクトリーが優勝しました。

庶路ビクトリーの山中翔（かける）副主将（庶路６年）は「地元の大会で優勝できてうれしいです」と喜んでいました。



１回戦は庶路ビクトリー(黄色ユニホーム)と稲田ＪＶＣ(帯広)

6月5日

公共施設にＡＥＤ配備
使用方法を学び命を救う

町は、心停止になった人に電気ショックを与えるＡＥＤ（自動体外式除細動器）をやまびこ会館や集会所など、町内の23施設に配備しました。

この日は、施設管理者を対象としたＡＥＤの操作説明会が白糠消防庁舎で開かれ、参加した17人が２人１組になり、訓練用の人形を使ってＡＥＤの使用方法や手順などを学びました。



人形を使い救急救命の流れを模擬体験する施設管理者

6月3日

豊かな森林を未来に引き継ぐ
白糠学園の児童トドマツ植樹

北海道が取り組んでいる「道民ひとり１本植樹・育樹運動」として、白糠学園の１年～４年生がトドマツ80本を学校西側の町有地に植えました。

この日は、釧路総合振興局産業振興課の職員と役場林業係の職員がサポートにあたり、児童たちがトドマツの苗を丁寧に植えました。植樹後は森林の働きなどについての講話を聞き、環境への理解を深めました。



「大きく育ってね」とトドマツを植える園児



サウンドアーチを手に樋口所長(左)と湊谷保健福祉部長

6月7日

電話の声を聞きやすく
明治安田生命サウンドアーチ寄贈

明治安田生命保険相互会社から「サウンドアーチ」を１台、町に寄贈していただきました。

サウンドアーチとは、電話の話し声を聞きやすいように変換し、高齢者でも聞き取りやすくする機器です。

この日は、樋口主馬春採営業所長と戸井里史チーフが役場を訪れ、湊谷雅浩保健福祉部長に機器を手渡しました。機器は役場介護福祉課に設置します。

6月6日

進学や就職サイトを扱う企業へ向けて
掘削学校オープンキャンパス

掘削技術専門学校（井上政史校長）は、学校を広く周知しようと、進学や就職情報サイトを運営する企業向けのオープンキャンパスを初めて開きました。

この日は、進学や就職情報を扱う３社が同校を訪れ、授業の様子や実習で使用する機械などを見学しました。

井上校長は「学校を広く知ってもらい掘削技術者の育成につなげていきたい」と話していました。



島田邦明理事（左）から掘削の説明を受ける参加者

6月8日

練習の成果を存分に
庶路学園運動会

庶路学園の第７回運動会が同校グラウンドで行われました。

運動会は紅白に別れて、個人や団体競技が行われたほか、地域や園児参加の「20m走」や保護者対生徒による「ガチンコ綱引き」などで盛り上がりました。フィナーレは１～４年生までと５～９年生までによる男女混合リレーで、白熱した戦いが繰り広げられました。

運動会に向けて練習を積んできた児童生徒は、保護者からの声援を背に、普段以上の力を見せていました。


1


2


3


4

①１～４年生の「庶路っ子ソーラン」。よさこいソーランを元気よく踊っていました。②５～９年生の「長縄跳び」。③１～４年生の男女混合リレー。④５～９年生の男女混合リレー。白熱したレース展開に多くの声援が送られていました。



「みんなにも驚きの森を知らせたい」と下向さん（右）

6月15日・16日

まき窯のピザに舌鼓
驚きの森ピザ祭り

上茶路の「驚きの森」で15・16日の両日、「ピザ祭り」が開かれ、初日から多くの人が訪れました。

まき窯の本格ピザが味わえるイベントで、自家製パンチェッタとゴボウをトッピングした「山のピザ」が限定メニューとして販売され、人気を集めました。

釧路市から初めて訪れた下向政之さんは「人が多くて驚きました。ピザもおいしいです」と笑顔でした。

6月12日

園児が異文化を学ぶ
アイヌ文化体験講座

こども園の園児に異文化を体験してもらおうと「アイヌ文化体験講座」がウレシパチセで行われました。

講座には、白糠こども園と庶路こども園の園児27人が参加し、アイヌ文化をテーマにしたＤＶＤを鑑賞したほか、アイヌ文化保存会の会員指導の下、きつねの踊りや輪踊りを体験しました。園児たちは「楽しい」「またやりたい」などと笑顔で話していました。



きつねのしっぽをつけて笑顔で踊る園児たち

募集

釧路管内町村職員採用資格試験

受験資格／高校卒（短大・専門学校卒および卒業見込を含む）、平成13年4月2日から平成19年4月1日までに生まれた方

受付期間／7月17日㈬～8月23日㈮
※郵送の場合は8月23日付消印有効

申込書請求先／釧路管内各町村役場総務課または釧路町村会。郵送の場合は、封筒の表に「町村職員採用資格試験申込書請求」と朱書きして、120円切手を貼った宛先明記の返信用封筒（A4サイズの入る大きさ）を同封してください。

第1次試験日／9月22日㈰

所 釧路町公民館

採用予定者数／白糠町一般事務5人、釧路町一般事務2人、厚岸町一般事務2人、浜中町一般事務1人、標茶町一般事務2人、弟子屈町一般事務3人、鶴居村一般事務1人
※町村会では採用しません。

問 総務課職員係(215)または釧路町村会事務局
☎0154・43・0649

水道メーター検針員募集

募集人数／1人

内 検針定例日（毎月25日～27日の3日間）で各家庭や事業所などの水道メーターの読み取り（土、日曜日、祝日問わず）

資格／満18歳以上(男女問いません)で体力および視力に自信のある方

契約期間／令和7年3月31日まで
※業務開始は7月分検針から

応募方法／水道課（1階5番窓口）に備え付けの申込用紙に必要事項を記入の上、7月5日㈮までに水道課へ提出してください。

問 水道課業務係(562)

海上保安学校学生採用試験

受験資格／令和6年4月1日において高校または中等教育学校を卒業した日の翌日から12年を経過していない方、および令和7年3月までに高校または中等教育学校を卒業する見込みの方

受付期間／7月16日㈫～25日㈭
※次のQRコードから申し込みください。

第1次試験／9月22日㈰

試験地／釧路市など

問 釧路海上保安部管理課
☎0154・22・0118

白糠町ふるさと納税返礼品 提供事業者募集中

事業活動の一環として、白糠町ふるさと納税を販路拡大に、ぜひご活用ください。

個人の方も参加できます。まずはふるさと納税担当にご談ください。

募集期間／通年

▶商品を大量に用意できない
数量限定や期間限定として紹介できます。

▶町外産・海外産だから地場産品にならない
町外から仕入れた原料でも町内で主要工程を行うことで、地場産品として紹介できます。

▶商品が食料品ではない
食べ物以外の、手作りの日用品や雑貨なども返礼品として紹介できます。また、体験型の返礼品の募集も行っています。

※白糠町ふるさと納税返礼品の一部は町内の白糠栄三郎商店（白糠印刷）や恋問館で通常購入できます。
ギフト・ご家庭用におすすめです！

問合先／企画財政課ふるさと納税推進係(351)

広告



自衛官募集

▼自衛官候補生
受験資格／18歳以上33歳未満の方
受付期間／通年
試験日／9月23日(月)～25日(水)の一日

▼一般曹候補生
受験資格／18歳以上33歳未満の方
受付期間／7月1日(月)～9月3日(火)
試験日／9月20日(金)、21日(土)の一日

▼航空学生
受験資格／航空自衛隊18歳以上24歳未満の方、または海上自衛隊18歳以上23歳未満の方
受付期間／7月1日(月)～9月5日(木)
試験日／9月16日(月)

問 自衛隊釧路出張所
☎0154・22・1053

子ども・子育て

児童手当

出生等により養育する子どもが増えた方や、他市町村より転入された方は、請求手続きが必要となります（公務員は勤務先へ）。児童の養育状況に変わりがなければ手続きは不要です。

支給対象／中学校修了前（15歳到達後の最初の3月31日）までの児童を養育している方

▼支給月額
【所得制限限度額以内】
・3歳未満（一律） 1万5千円
・3歳～小学校修了前 1万円
※第3子以降は1万5千円
・中学生（一律）1万円
※児童を養育している方の所得が、所得制限限度額以上は特例給付（一律）5千円。所得上限限度額以上の方は支給されません。

支払時期／6月、10月、12月、2月に前月分まで支給されます。

問 健康こども課子育て支援係(522)

児童扶養手当現況届

父母の離婚等の理由で母子・父子世帯の児童（18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童、または20歳未満で障がいのある児童）を養育する方の申請により児童扶養手当が支給されます。

▼支給月額
全額支給／4万5千500円
一部支給／4万5千490円～1万740円

【第2子の加算額】
全額支給／1万750円
一部支給／1万740円～5千380円

【第3子以降加算額】
全額支給／6千450円
一部支給／6千440円～3千230円

支払時期／5月、7月、9月、11月、1月、3月の年6回に前月分までが支給されます。また、受給資格者は、毎年8月1日から31日までに、児童扶養手当現況届の提出が必要です。なお、関係書類は7月下旬に発送しますので、ご確認ください。

問 健康こども課子育て支援係(522)

生き活きしらぬか活動応援ポイント事業

65歳以上の町民へポイントを付与し、30ポイント以上の達成でシラトピア商品券3,000円分と交換できる事業を実施中です。

7月1日より交換を開始します。

交換場所／白糠町商工会（9時～17時）
実施期間／3月末日まで
問合先／介護福祉課高齢者支援係(587)



広告



広告



健康

むし歯ゼロおめでとう

6月6日に実施した3歳児歯科健診の結果、4人の幼児がむし歯ゼロで表彰されました。おめでとうございます。

上田　成真（せいま）ちゃん／聖悟さん
小崎　風麻（ふうま）ちゃん／大介さん
菊田　理莉（りり）ちゃん／亮佑さん
佐藤　楓（かえで）ちゃん／慌椰さん

健康ステップアップ講座

対 満20歳以上の町民
申 各回1週間前までに、健康支援係へ電話で申し込みください。
※8月7日㈬は保育士による託児があります。
※生き活き（いき）しらぬか活動応援ポイント事業(65歳以上)対象。

▼講座日程
日 7月24日㈬　13時～15時
内 計測「体組成・骨密度・血圧測定」
講話／糖尿病の最新情報
講師／医療法人社団森田医院
　院長　森田三雄氏
所 社会福祉センター
日 8月7日㈬　13時30分～15時
内 運動実技「イスを使ってかんたん軽体操」
持ち物／上靴、水分
講師／㈱オカモト　神田紘好氏
所 総合体育館
日 8月21日㈬　10時～13時
内 調理実習「野菜をおいしく食べよう」
講師／保健師・管理栄養士
費 500円
所 保健センター
問 健康こども課健康支援係（593）

食中毒予防

最低気温が20℃以上で湿度が85％以上となる日は、最も食中毒が発生しやすい気象条件となります。食中毒菌は食品に付着しても肉眼では分からない上、臭いや味、色などが変わらないことが多いです。

食品取扱業者だけではなく家庭においても日頃から、食品の取り扱いには十分に注意をしましょう。

▼食中毒予防の三原則
細菌をつけない…食品を取り扱うときは手洗い、消毒をし、調理器具は清潔に保管する。
細菌を増やさない…調理した食品は早めに食べる。冷蔵庫にはものを詰めすぎないようにし、庫内温度は5℃以下にする。
細菌をやっつける…食品の中心部まで十分火を通し、調理器具は十分殺菌する。

問 健康こども課健康推進係（555）

熱中症予防

近年、地球温暖化の影響による異常気象で、熱中症が増えています。

熱中症は、室内で何もしていないときでも発症し、場合によっては死亡することもあります。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気を付けるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

▼予防対策
①暑さを避ける
・扇風機やエアコン等で温度を調節
・遮光カーテンを利用
・外出時には日傘や帽子を着用
・日陰の利用、こまめな休憩
・吸湿性、速乾性のある通気性のよい衣服を着用
・冷たいタオルなどで体を冷やす
②こまめに水分を補給する
・外出時や室内で、のどの渇きを感じていなくてもこまめに水分、塩分などを補給する

▼現在、町内各公共施設で冷房設備（エアコン）の整備をしています。
整備ができましたら、外出時の気温上昇による体調不良の際に利用できるよう、利用可能な公共施設をお知らせします。

問 健康こども課健康推進係（555）

税金

税金に関する無料相談会

日 8月2日㈮　10時～
所 道東経済センタービル2階
内 相続や贈与など、税金に関することであれば何でも相談ください。
予約期間／7月8日㈪～19日㈮の平日　10時～16時
申・問 北海道税理士会釧路支部
☎0154・42・0407

今月の納税

固定資産税　第2期
国民健康保険税　第1期
納付期限　7月31日（水）

～今月の夜間窓口～
日時／7月24日（水）　17時～19時
会場／税務課窓口（1階6番窓口）
問合先／税務課収納係　内線（538）

保険・年金

労働保険のお知らせ

令和6年度労働保険（労災保険・雇用保険）の年度更新期間は7月10日㈬までです。

年度更新申告書の書き方および申告・納付方法等の詳細は、年度更新申告書に同封しているパンフレットを参照ください。厚生労働省のウェブサイトでも確認できます。

※労働保険の手続きに「電子申請」を活用ください（自宅やオフィスから24時間申告・納付が可能）。

国民年金保険料　免除申請

経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合は「保険料免除制度」や「納付猶予制度」を利用ください。

令和6年度分の免除等の受け付けは7月1日から開始します。また、申請時点の2年1カ月前までさかのぼって申請することができます。

保険料を納付することが困難になったものの、申請を忘れていた期間がある場合は、保険年金係または年金事務所へご連絡ください。

問町民サービス課保険年金係（523）

後期高齢者医療制度

▼7月に令和6年度の保険料額を通知

年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割で計算します。

▼保険証・減額認定証・限度証が新しくなります

現在使用している保険証・減額認定証・限度証の有効期限は7月31日までです。7月中に新しい保険証等を郵送しますので、そちらを使用してください。新たに必要となる方は問い合わせください。

問町民サービス課保険年金係（523）

国民健康保険被保険者証の更新

7月中旬頃に保険証を世帯分まとめて発送しますので、現在お持ちの保険証と交換してご使用ください。

▼こんなときは届出を

・就学のため学校が所在する市町村に住民登録している家族がいる
持ち物／学生証の写し

・他の健康保険に加入したときや職場の健康保険から脱退したとき
持ち物／保険証と加入日や脱退日が確認できる書類

▼国民健康保険に係る各種認定証を交付しています

入院等で高額な医療費の支払いが見込まれる方は、役場または庶路支所の窓口に保険証等を持参の上、支払いが限度額までとなる「限度額適用認定証」「限度額適用・標準負担額減額認定証」の交付手続きをしてください。既に交付を受けている方は、有効期限が7月末となっていますので、引き続き必要な場合は更新の手続きをお願いします。

なお、マイナ保険証を利用の場合は認定証が原則不要となります。

問町民サービス課保険年金係（523）

保険証更新に係るお知らせ

後期高齢者医療・国民健康保険の新しい保険証をお送りする際に、個人番号の下4ケタをお知らせします。

マイナンバーカードなどに記載の番号と相違がないか、確認ください。

問町民サービス課保険年金係（523）

環境

多面的機能支払制度

▼主な活動内容

・点検結果に基づく水路の泥上げ、農道の路面維持など
・農村環境保全活動（景観形成のための施設への植栽活動）
・多面的機能の増進を図る活動（河川・湿原への農用地からの土砂流出防止対策）

協定集落名／白糠町農業・農村資源保全協議会
代表者氏名／影山　純
協定参加者数／98人（農業者59人、生産組合3人、農業法人8人、町内会等27人、JA1人）
対象農用地面積／草地2802㌃、デントコーン畑353㌃
交付金／1160万6903円

問経済課農政係（258）

中山間地域等直接支払制度

▼主な活動内容

・農地、農道、水路の適正な維持管理
・農業生産活動等の体制整備に向けた活動
・家畜ふん尿の有効利用を図るための適正な堆肥処理など

協定集落名／白糠集落（事務局／JAくしろ丹頂白糠事務所内）
代表者氏名／影山　純
協定参加者数／71人（農業者59人、生産組合3人、農業法人8人、JA1人）
対象農用地面積／草地2769㌃
交付金／4153万7941円

問経済課農政係（258）

イベント

男性の料理教室

初心者と経験者の料理を準備しますので、ぜひご参加ください。

日 7月17日(水) 10時～
所 保健センター
対 概ね60歳以上の男性
定 10人（要予約・先着順）
内 血圧測定、調理実習
費 500円
持ち物／エプロン、三角巾（頭にかぶればタオル可）、筆記用具
申込期限／7月12日(金)
申・問 健康こども課健康支援係(592)

アイヌ文様刺しゅう講座

白糠アイヌ文化保存会を講師に招き、ランチョンマットやひざ掛けなどにアイヌ文様を刺しゅうします。

日 7月9日(火)、10日(水)、16日(火)、17日(水)、23日(火)、24日(水)、30日(火)、31日(水)、8月6日(火)、7日(水) 10時～11時30分
所 ウレシパチセ
定 18歳以上
対 15人
持ち物／裁縫道具
申込期限／7月4日(木)



申・問 社会教育課文化振興係 ☎2・2287

ピアノ・声楽・リコーダーによるコンサート

ピアノ・声楽・リコーダーによるコンサート～夏に音楽の彩りを～

日 7月27日(土)14時30分～（14時開場）
所 社会福祉センター
費 無料
ピアノ　：笠原　茂子氏
ソプラノ　：菊地　江　氏
メゾソプラノ：佐藤　順子氏
リコーダー　：笠原　邦夫氏
問 笠原☎2・2723

わかものフリー相談会in白糠

サポステは厚生労働省が設置する、若者や家族などの総合相談窓口です。

相談会では就職や生活、将来のことなど幅広く受け付けます。

日 7月31日(水) 13時～
所 社会福祉センター
問 くしろ若者サポートステーション ☎0154・68・5102

中国語講座

通訳経験が30年以上ある「李艶偉先生」を講師に招き、基本的な中国語の会話力を養う講座です。

日 8月21日(水)～10月23日(水) 毎週水曜日開催の10日間
18時30分～20時20分
所 釧路高等技術専門学院 釧路市大楽毛南1丁目2番51号
対 在職者（従業員）の方
定 15人
費 無料
募集期限／8月2日(金)
申 次のリンクまたはFAXから申し込みください。
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kss
FAX／0154・57・8013
問 北海道立釧路高等技術専門学院 ☎0154・57・8016

生活・暮らし

犬のフンは持ち帰りましょう

公園や道路など、犬のフンで迷惑を受けている人は少なくありません。

「他人に迷惑をかけない」ということは犬を飼う上での大切なモラルです。散歩中などに飼い犬がしたフンは、飼い主が責任を持って拾い、自宅に持ち帰りましょう。

問 町民サービス課生活環境係(517)

町営住宅入居者募集

受付期間／7月1日(月)～5日(金)
入居時期／8月上旬予定
募集住宅／上記QRコードから確認できます。
申込場所／建設課住宅管理係、庶路支所

■日の出団地

・築S56年	2階3DK	3F40－5	家賃15,100円～
・築H3年	2階3DK	3F41－8	家賃18,200円～
・築H6年	3階3LDK	HK3－9	家賃22,200円～
・築H6年	3階3LDK	HK3－10	家賃22,200円～
・築H6年	4階3LDK	HK3－13	家賃22,200円～

■信和団地

・築H元年	2階3DK	3F8－7	家賃18,900円～
・築H2年	1階3DK	3F9－1	家賃19,100円～

■共栄団地

・築H14年	2階3LDK	KR2－6	家賃26,400円～

問合先／建設課住宅管理係 内線(285)
※申込資格や申込方法等は問い合わせください

狂犬病予防注射

5月の集団狂犬病予防注射を受けられなかった方を対象に、狂犬病予防注射を実施します。

日 7月8日(月) 10時～
所 白糠町役場東側駐車場
費 1頭につき3240円

接種は完全予約制です。希望される方は生活環境係まで事前予約をしてください。当日は、案内ハガキを切り離さずに持参ください。

※犬の登録をお済みでない方は、狂犬病予防注射を予約する前に登録を済ませてください。

※つり銭がでないようご協力ください。また、注射は飼い主が犬を抑えた状態での接種となります。

問 町民サービス課生活環境係(517)

スズメバチに注意

スズメバチは、出入りする隙間があれば巣を作りますので、軒下や物置、車庫など家の周りの点検を行い、巣を作らせない対策をとりましょう。

▼スズメバチ捕獲器の作り方

①2リットル型ペットボトルの容器上部に台形型の捕獲穴を開ける。

②容器に誘香液（日本酒150cc、酢50cc、砂糖50～70g）を入れる。

③地上から約2mの位置（木など）につるして使用してください。



※ハチが集まるので、人の往来が多い場所には設置しないでください。

問 町民サービス課生活環境係(517)

その他

白糠町情報公開条例実施状況

令和6年度における情報公開の請求件数は次のとおりです。

請求件数／企画総務部2件（全部公開1件、一部公開1件）

問 総務課情報統計係(212)

夏季安全推進活動期間

7月16日(火)～8月31日(土)は「夏季安全推進活動期間」です。

安全にマリンレジャーを楽しむために次のことを守りましょう。

▼ライフジャケット『きたきつね』

「き」きちんと着用「た」多数で行動「き」気象の確認「つ」常に連絡体制の確保「ね」熱中しても足元注意

▼プレジャーボート等で海に行く際の『自船の安全3か条』

①海に出る前には「発航前検査」

②航行中は「常時適切な見張りの徹底」

③万一に備え「救助支援者の確保」

※安全に海を満喫するために『ウォーターセーフティガイド』と検索し、海の安全情報をご覧ください。

問 釧路海上保安部
☎0154・21・5575

寄付

寄付金のお礼

【教育基金】

大橋 幸弘さん(和天別318) 30万円

【会葬お礼はがき利用料】

野澤 秀一さん(東1北3) 1万3千円
田名部 弘志さん(岬2) 1万6千円
森谷 陽子さん(東1北4) 1万8千円

▼一般寄付金

吉村 寛さん(西庶路東1北1) 2万円
笠原 邦夫さん(西1南4) 5万円

釧路市西消防署白糠支署 5月末までの活動状況

○救急出動件数

・急　　病　35件（153件）
・交通事故　0件（　3件）
・そ の 他　8件（　47件）

○ドクターヘリ搬送件数　0件（　0件）
○火災出動件数　2件（　4件）
○その他の出動件数　5件（26件）

※（　）内は令和6年1月からの累計出動件数

空地に雑草が生い茂っていませんか？

消防では野火を未然に防止するため、町内で空地を所有している方に、雑草の刈り取りをお願いしています。空地で、伸びた雑草が枯草となり放置されると、発生した野火が拡大する要因となりますので、雑草は枯れる前に刈り取りましょう。火災を未然に防ぐため、空地の適正管理にご協力をお願いします。

問合先／西消防署白糠支署 ☎ 2－2053

01

町民の憩いの場「町民コミュニティカフェ」

皆さんの憩いの場、外出するきっかけにと、ＮＰＯ法人「陽向ぼっこ」（儀同一義代表）では「町民コミュニティカフェ」を開催しています。ぜひお気軽にご来店ください。

対　象　町民

時　間　11時～15時30分

期　間　毎月第１、２、４土曜日(10月まで)

内　容　コーヒー・お茶（おかわり自由）、ワッフル、甘酒。その他、麻雀や将棋、カラオケ（14時30分～15時30分までの１時間歌い放題）、健康器具（ランニングマシン、バイク）などが楽しめます。

＼藤女子大学食物栄養学科がレシピを監修！／



子どもの食事等支援事業

お米やお菓子などの食事を無償で配布し、対象者の経済的負担を軽減する「子どもの食事等支援事業」に取り組んでいます。同事業は農林水産省の助成金で実施され、ひとり親家庭であれば参加できますので、気軽に申し込みください。

配布日／７月下旬予定

申　込／７月15日(月)までに陽向ぼっこへ連絡ください。

無料塾の送迎

小学２～６年生対象の「無料塾」では、希望者に送迎をしています。

対象地域／茶路地域
釧路市音別町

申　込／送迎を希望される方は、陽向ぼっこまで連絡ください。

問合先／ＮＰＯ法人陽向ぼっこ ☎ ６－０４０４

02

厳島神社例大祭に伴う交通規制

７月26日(金)～28日(日)までの間、白糠駅前の交通規制を行います。なお、自動車駐車場は道路占用等の準備のため、７月23日(火)～29日(月)まで使用できません。ご了承ください。

■町営バス停留所の変更

【白糠コミュニティバス】

白糠学園・清和園行／白糠駅→北海道銀行白糠支店前

茶路団地・二股方面行／白糠駅→レストランはまなす前

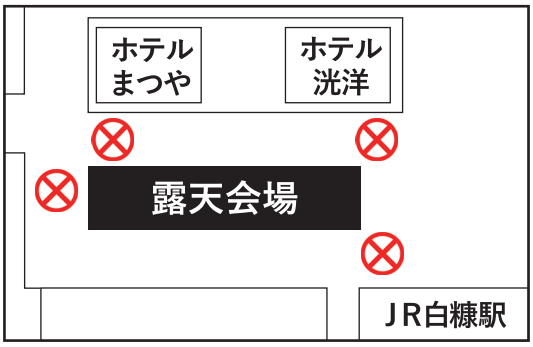
【庶路・西庶路コミュニティバス】

西庶路・庶路駅行／白糠駅→レストランはまなす前

■くしろバス停留所の変更

白糠発／白糠駅前→レストランはまなす前

白糠着／白糠駅前→北海道銀行白糠支店前



問合先／建設課土木都市計画係　内線(283)

児童館へようこそ

【やまびこ児童館】☎2−2081

11日(木) ゲーム大会
16日(火)～20日(土) 制作活動
19日(金) クラブ誕生会
24日(水) わんぱく広場
26日(金) 避難訓練



【ふれあい児童館】☎5−4006

3日(水) フラフープ大会
4日(木) わんぱく広場
8日(月)～13日(土) 制作活動
17日(水) 交通安全教室
18日(木) 環境学習活動日
22日(月) クラブ誕生会
31日(水) 避難訓練



新刊図書

新着図書はこの他にもたくさんありますので町ホームページからご覧ください。

一般図書



女の国会
著：新川 帆立



ゆうびんの父
著：門井 慶喜



魔女の後悔
著：大沢 在昌



さまよえる神剣
著：玉岡 かおる

児童・生徒図書



ねがいの木
著：岡田 淳



あいたくてたまらない
著：おくやま ゆか

絵本



いちごパフェエレベーター
著：石崎 なおこ



エリック・カールのグリムどうわ　5つのおはなし
著：エリック・カール

趣味・教養



大きな字でわかりやすいパソコン入門
著：AYURA



103歳、名言だらけ。なーんちゃって
著：石井 哲代

調べ学習



鳥の落としもの＆足あと図鑑
著：小宮 輝之



水はどこからやってくる？
著：浜田 久美子

今月のおすすめ本

アトムの心臓
「ディア・ファミリー」23年間の記録

著者：清武 英利

6月に公開された俳優の大泉洋さん主演映画「ディア・ファミリー」の原作。

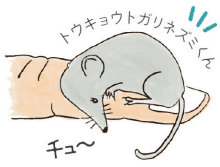
娘の命を救うために全力で人工心臓づくりに励む家族を描いた感動の実話です。



問合先　公民館図書室 ☎2-5555　10:00～18:00（土・日・祝日は17:00まで）月曜日は休館日

トガリネズミラヴァー
六田晴洋の

私たちのご近所さん



VOL.14 「ロードキル」

「ロードキル（Road Kill）」という言葉を知っていますか？これは道路上で車が野生生物をひき殺してしまうことを言います。

暗い話と写真で申し訳ありませんが、今回はそのロードキルについて紹介したいと思います。

あるタヌキ夫婦の別れ

ある日の夕方に遭遇した場面。道路で横たわったタヌキを見つめるもう一匹のタヌキがいました。

夫婦の片方が車にひかれてしまったのでしょう。私がさっき車で通ったばかりの道で、その時はいませんでした。事故は30分以内に起きたのだと思います。生きている方のタヌキは、動かない相方を不思議そうに見つめていて、私はそれを遠くから眺めることしかできませんでした。

しばらく経つと、見つめていたタヌキは事態を理解したのか、その場から去っていきました。

タヌキは哺乳類としては珍しい一夫一妻で、繁殖期の半年以上の期間、夫婦で行動を共にするそうです。子育ても夫婦で協力して行います。突然1匹になってしまったタヌキは何を思っているのか、子どもはいるのだろうか。私はその一匹が茂みに入って見えなくなるまで見送りました。


車にひかれてしまったエゾタヌキ


事故現場を去る夫婦の片方

ロードキルを防ぐために

北海道に住んでからと言うもの、日常的に目にする道路上で死んでいる動物。正直「またか…」と思うほど、人と野生動物の距離が近い北海道ではロードキルが頻繁に起きています。

急に道に飛び出してくる動物は、どんなに安全運転をしていても避けられない場合だってあると思います。エゾシカなんかと衝突してしまった日には、車や人も無傷では済まないでしょう。動物のためにも人のためにも防げるものなら防ぎたいロードキル。近年では、動物が道路を安全に渡れるように専用の地下道を設けてある所もあるようです。

私たちにできることは、安全運転を心がける、動物が道路に出てくる機会を減らすために餌を与えない、生ごみなどを捨てない、といったことが挙げられます。悲しいロードキルが一件でも減ることを願って…。



PROFILE
六田晴洋
ろくたはるひろ
1986年生まれ。
2021年に白糠町へ移住。大学卒業後、フリーランスのカメラマンやディレクターとして野生動物や自然風景を撮影している。E-mail rokuta@six-h.com

バドミントン全道大会出場

６月７日、第76回北海道高等学校バドミントン選手権大会の釧根支部予選会を勝ち抜いて、全道大会（６月11日～14日、札幌市）に出場する白糠高等学校の對木隼祐（しゅんすけ）さん（３年）と對木慎哉（しんや）さん（２年）兄弟が、役場を訪れ川島眞澄教育長へ出場報告をしました。

報告会では、川島教育長が「２人の活躍が今の小中学生の憧れになります。頑張ってください」と選手を激励。隼祐さんは「高校生活最後の大会なので、全ての練習の成果を発揮し全力で戦います」、慎哉さんは「兄（長男の一輝さん）が残したベスト８の記録と、肩を並べられるように頑張ります」と健闘を誓いました。



左から慎哉さん、隼祐さん、川島教育長

男子ダブルスで出場した２人は、３回戦まで進み北北海道ブロックでベスト８の結果となりました。

備えあれば憂いなし

防災減災対策

町おこしエネルギー 防災ベッド寄贈

株式会社町おこしエネルギー(沼田昭二会長)から木製の防災ベッドを500セット寄贈していただきました。

沼田会長は、町内でバイオマス発電所事業を展開している神戸物産の創業者であり、現在は学校法人ジオパワー学園「掘削技術専門学校」の理事長も務めています。また、畜産と太陽光発電が融合した「ソーラーグレージング」を進めています。

このたび寄贈していただいた木製の防災ベッドは、札鶴ベニヤ株式会社と町が共同で開発したもので、長期間の使用や保存が可能となっており、プライバシーの確保やベッドの中には貴重品も保管できます。

６月６日、役場で寄付採納式が行われ、沼田会長が棚野孝夫町長に目録を手渡しました。

棚野孝夫町長は「まちづくりに多大なる貢献をいただき感謝しています。これまでも大地震、大津波が来るという前提で避難訓練やさまざまな防災対策をしてきました。今回、防災対策の一つとして、一歩前の安心につながる寄付をいただいたので、町民の皆さんには機会あるごとに組み立てや撤収の練習をしていただき、災害に強いまちづくりに生かしていきたい」とお礼を述べました。

沼田会長は「災害を防ぐことは難しいかもしれませんが、避難生活のストレスといった災害による二次被害につながるようなことは、できるだけ防ぐことが重要だと思います」と話していました。

防災ベッドに関する問い合わせは、役場地域防災課地域防災係 ☎２－2171(内線222・223)まで。



①防災ベッドを前に採納式でお礼を述べる棚野町長。②沼田会長から目録を受け取る棚野町長。③防災ベッドはフレーム構造で高い強度を誇ります。ベッドの下には収納スペースが確保され、貴重品等を保管できます。

君の世界に芽生えるものは

久遠塾（くおんじゅく）

vol.61

久遠塾　☎080－2182－1379　13:00～20:00
メールアドレス　shiranuka.kuon@gmail.com

塾の近況をお知らせします

新年度に入り、3カ月余りが経過しました。今は公務員試験対策講習に3年生4人が参加し、勉学に励んでいます。

公務員試験は例年、9月中旬頃に行われています。本番まで3カ月を切りましたが、生徒たちの熱意に負けないよう、塾スタッフ一同まい進していきます。

開始して2年半となる「BS久遠塾（基礎学習）」は、今年度から全学年で実施となりました。また、従来からの英語・数学・国語に理科が加わり、教科も充実してきました。

1年生の中には終了時刻になっても止めずに、課題を全てやり遂げる生徒がおり、とても前向きな姿勢が感じられます。

最近はBS久遠塾が終わった後も塾スタッフのところにいろいろと聞きに来る生徒や、自主的に予習をしてくる生徒が増えました。こうした状況を、これからも継続していきたいと考えています。



公務員試験対策講座では、学習を中心に作文や面接対策も塾の講師がサポートしています。

地域みらい留学事業始動

令和6年度の「地域みらい留学」事業がスタートしました。

これは、地方の高校へ進学を希望する中学生と、全国から生徒を募集する公立高校とをつなぐ（マッチング）事業で、白糠高校でも昨年度から活用しています。

第1回目は、5月14日にオンライン説明会として行われました。

この日の説明会には、1人の申し込みがあり、久遠塾については塾長が「公営の塾で全国的にもあまり例のない、高校の校舎内にある無料の塾であること」や「昼休みから20時まで開塾していること」などを説明しました。

この日参加してくれた中学生には、白糠高校や久遠塾の取り組み、町が行っている白糠高校への支援などが伝わったと思います。

6月29日と30日の両日は、東京での対面説明会が予定されています。



BS久遠塾には多くの生徒が参加。スタディサプリを活用し、基礎学力の定着を目指します。

こちらには校長先生をはじめ、生徒2人と教育委員会の職員が出席し、白糠高校をPRしてきます。

卒業生も頑張っています

5月の連休明けから、令和3年3月に本校を卒業した社会人が塾で勉強をしています。

卒業生の受け入れは「概ね卒業後1年」という決まりがあります。しかし、目標に向かって努力しようとする姿勢や意志の強さなどにより、教育委員会が認めた方は塾生として受け入れることができます。

この方は、卒業後に町外で就職しましたが、今は町内で働き、その勤務時間の合間を縫って休日も返上し、久遠塾へ通っています。その理由は大学を受験するためです。高校卒業後のブランクや高校時代に学んでいない分野も入学試験の出題範囲に含まれているため、並大抵の覚悟で取り組めるものではありません。その先に立ち塞がる障壁は高いと思いますが、久遠塾としてできる限りのサポートをしていきます。

卒業してからも、夢に向かって努力している卒業生の姿は、在校生にとっても良い刺激になっています。

ひとのうごき

令和６年５月31日現在

◆人　口　７，０５８人（▲１７人）
　男　　３，３１１人（▲１３人）
　女　　３，７４７人（▲４人）
◆世帯数　３，９５６世帯（▲８世帯）
※（　）は前月比

戸籍のまど

おくやみ

岬２　田名部　勝　博さん（７３歳）
東２北１　佐　藤　麻　子さん（９４歳）
東１北３　野　澤　トシ子さん（９１歳）
東１北４　森　谷　一　正さん（８６歳）
東３北５　佐　藤　春　江さん（８９歳）
庶路宮下2　瀬　戸　和　枝さん（９２歳）
西・西1南4　清　野　喜久男さん（９０歳）
西・西1南1　傍　士　洋　子さん（７１歳）
西・西1南2　林　ハナヱさん（９８歳）

５月16日～６月15日の届け出で、承諾をいただいた方のみ掲載しています。

福祉情報

市民後見人養成講座 受講者募集

「市民後見人」は、支援が必要な方の後見人となり、その人らしい生活が送れるように、本人に代わり手続きやお金の管理を行い、身近な相談相手となることです。

認知症の方や障がいを持つ方への支援などに関心のある方や、制度について勉強したい方の受講もお待ちしています。



【講座日程】

７月23日(火)、24日(水)、30日(火)、31日(水)、
８月６日(火)、20日(火)、21日(水)、27日(火)、
28日(水)、９月３日(火)、４日(水)

時　間／13時～16時10分
※７月31日(水)は13時～16時20分
　８月27日(火)は13時30分～16時10分
　８月28日(水)は13時～14時30分
会　場／役場１階会議室
対　象／25歳以上の町民（無料）
内　容／成年後見制度や法律、対象者との接し方など
申　込／７月19日(金)までに介護支援係へ連絡ください。
問合先／介護福祉課介護支援係 ☎ 2 - 2171（585）

楽屋オチ

職場の後輩SYさんがめでたく結婚しました。奥さんのイニシャルがSYになりましたが、私もSYです◆先日、同僚と二人のお祝いをしたのですが、そこで奥さんが「夫は睡眠中に金縛りになって『お母さ～ん』と叫んでいた」という話をする。それ以降は神棚の管理方法や盛り塩の仕方の話で盛り上がる◆祝いの席でこのような話になってしまうのもSY夫婦がＲ６年６月６日の「６６６」に入籍したからに違いない（Ｓ）

先日野球の大会があり、７回戦の試合のスタメンで出場しました。試合は６回まで順調に進み、打順が来た私は打席に入る。打球はセカンドへ。全力疾走をしたのもつかの間、ふくらはぎをつってしまい、ファーストベースにたどり着く前に倒れこんでしまいました。「片脚でも進めるだろ」と思う人もいるかもしれませんが、両足がつっていた私は無力でした。自分のふくらはぎには負けたが、試合は勝ちました（Ｔ）

サンアリーナしらぬか通信

夏休み短期水泳教室



【３日間教室】みんなと一緒に練習！

日　程／Ａコース…７月26日(金)～28日(日)
　Ｂコース…８月２日(金)～４日(日)
　どちらも10時30分～11時45分
料　金／5, 280円(税込)

【ひみつの特訓】マンツーマンレッスン！

１回30分のレッスンを次の期間中、３回行えます。
日　程／７月26日(金)～８月11日(日)
料　金／6, 600円(税込)

持ち物／水着、水泳キャップ、ゴーグル、タオル
対　象／３歳～中学生
特　典／親子温浴券３回分プレゼント！短期教室終了後に通常水泳教室へ入会すると、初回登録事務手数料2, 200円と１カ月分月会費4, 400円が無料となります。
申込・問合先／温水プール ☎ ２－３２７２

広報しらぬか 7 2024（令和6年） No.1052

リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

発行日／令和6年6月25日（月1回発行）
発行／白糠町　編集／企画財政課地域交流係

7月くらしのカレンダー

1 月

2 火
・英検チャレンジ応援講座 17:00 ～公

3 水

4 木
・母子健康相談、乳児健診 10:00 ～保

5 金

6 土
・白糠学園体育祭

7 日

8 月
・こころの相談 13:00 ～役

9 火
・アイヌ文様刺しゅう講座①10:00 ～ウ詳22
・ふまねっと教室 13:30 ～コ

10 水
・アイヌ文様刺しゅう講座②10:00 ～ウ詳22
・白糠消費者協会定期総会 10:00 ～役

11 木

12 金
・**70歳以上しらぬかの湯無料入浴日**
・ふまねっと教室 13:30 ～保

13 土

14 日

15 月
・**海の日**

16 火
・アイヌ文様刺しゅう講座③10:00 ～ウ詳22

17 水
・集団検診 6:30 ～庶
・アイヌ文様刺しゅう講座④10:00 ～ウ詳22
・男性の料理教室 10:00 ～保詳22
・歌謡コンサート 14:00 ～社詳10

18 木
・和老会健康相談 10:00 ～和天別パイオニアセンター
・２歳児相談 13:00 ～保

19 金

20 土

21 日
・鍛高譚杯パークゴルフ大会 8:30 ～PG

22 月
・ママ♥こっこ広場 10:00 ～子
・こころの相談 13:00 ～役

23 火
・アイヌ文様刺しゅう講座⑤10:00 ～ウ詳22
・市民後見人養成講座① 13:00 ～役詳29
・ふまねっと教室 13:30 ～コ

24 水
・アイヌ文様刺しゅう講座⑥10:00 ～ウ詳22
・健康ステップアップ講座 13:00 ～社詳20
・市民後見人養成講座② 13:00 ～役詳29
・夜間納税窓口 17:00 ～役詳20

25 木

26 金
・**70歳以上しらぬかの湯無料入浴日**
・ふまねっと教室 13:30 ～保

27 土
・ピアノ、声楽、リコーダーによるコンサート 14:30 ～社詳22

28 日
・集団検診 6:30 ～保

29 月

30 火
・アイヌ文様刺しゅう講座⑦10:00 ～ウ詳22
・市民後見人養成講座③ 13:00 ～役詳29

31 水
・アイヌ文様刺しゅう講座⑧10:00 ～ウ詳22
・わかものフリー相談会 in 白糠 13:00 ～社詳22
・市民後見人養成講座④ 13:00 ～社詳29
・八王子、白糠子ども交流事業（～８月３日）

役役場庁舎　支庶路支所　社社会福祉センター　保保健センター
公公民館　コ西庶路コミュニティセンター　庶庶路町民センター
総総合体育館　温温水プール　集集会所　PGパークゴルフインチャロ
ややまびこ児童館　ふふれあい児童館　子子育て支援センター
ウウレシパチセ　ススポーツ広場　詳詳細内容の掲載先ページを表す

情報発信

ホームページ　インスタグラム　ライン

白糠町役場
〒088-0392 北海道白糠郡白糠町西１条南１丁目　TEL 01547-2-2171　FAX 01547-2-4659
メール tantaka@town.shiranuka.lg.jp　ホームページ https://www.town.shiranuka.lg.jp